



# ストップ！農作業事故



## 安全第一を目標に

岡山県では毎年、農作業中死亡事故が6件から10件発生しており、高止まりが続いています。今一度、身の回りの環境を確認し、事故を起こさない意識を持って農作業に取り組みましょう。

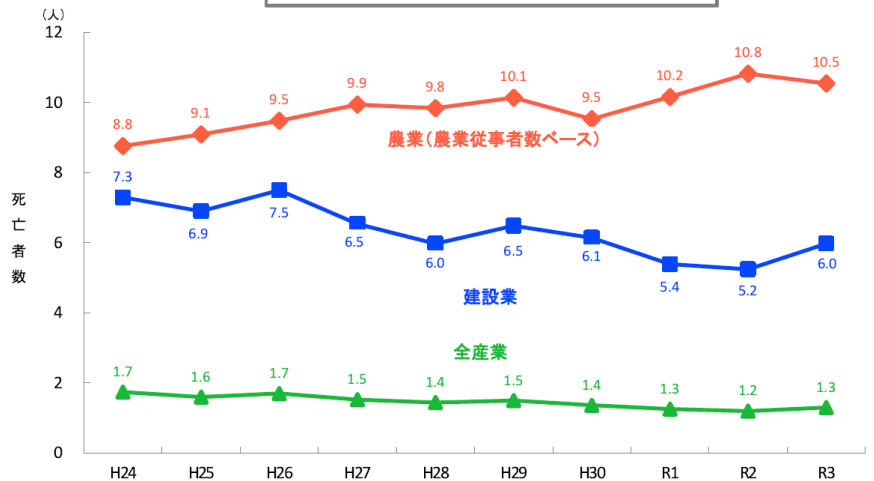
## 実は農作業事故は多い

全国で年間約300名の方が農作業中の事故で亡くなられています。就業者10万人当たりの死亡者数を比較すると他の産業と比較し**倍以上**の多さになっています。

【参考】

(人)  
12  
10  
8  
6  
4  
2  
0

就業者10万人当たり死亡事故者数の推移

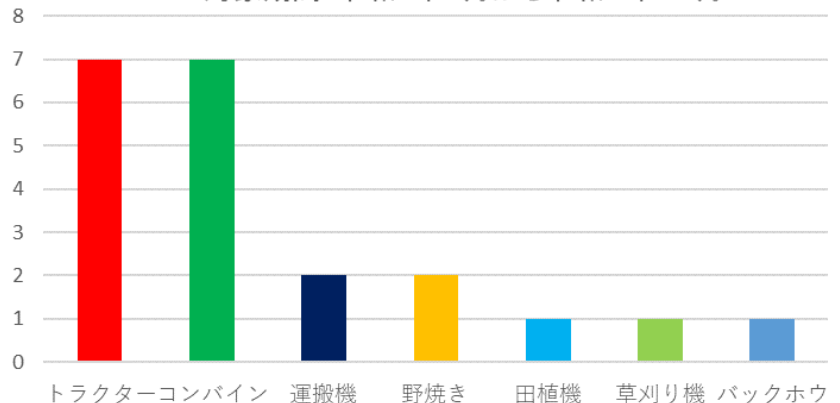


出典 死亡者数 農作業死亡事故調査(農水省)、死亡災害報告(厚労省)  
就業者 農林業センサス、農業構造動態調査(農林水産省)、労働力調査(総務省)

## トラクター・コンバインの事故に注意！

農業機械作業中の死亡事故が多数を占めています。全国的にトラクターによる事故が多くなっており、岡山県でもトラクターによる死亡事故が多くなっています。また、岡山県の特徴としてコンバインの事故が比較的多くなっています。

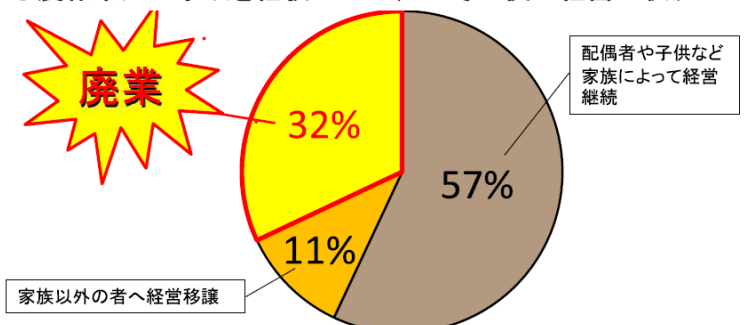
岡山県内で発生した農作業死亡事故  
対象期間：令和2年1月から令和4年12月



## 死亡事故は廃業に直結！

農作業死亡事故を経験した農家の約4割が**廃業**に追い込まれています。

○農作業死亡事故を経験した28戸のその後の経営の状況



注：農林水産省調べ

## 乗用型トラクターの安全対策を見直そう！

安全キャブ・フレームのあるトラクターを使用し、シートベルト・ヘルメットの着用を徹底しましょう！

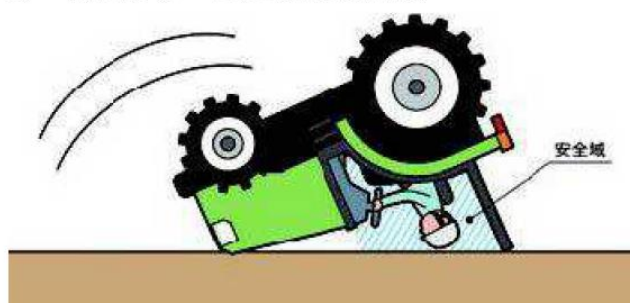
安全フレーム



3点セットで対策



○ 安全フレームによる安全域



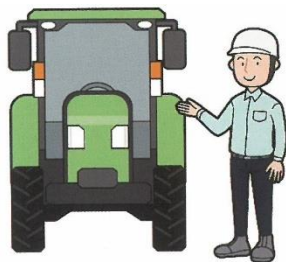
- ・転倒時に安全域が作られることによって、運転者がトラクターの下敷きになるのを防ぎます。
- ・安全フレームの効果を発揮するために、シートベルト・ヘルメットの着用は必須です。

## 作業環境を確認し安全対策を見直そう！

作業環境を確認し、危険性に配慮しましょう！



稼働の前には  
「合図」の習慣



作業にあった  
正しい服装・装備で



危険が潜む場所は  
草刈りで見通しをよ  
くしましょう。

## 動画でチェック

農林水産省公式 YouTube チャンネル「Maffchannel」で農業における事故事例と安全対策を公開しています。

今一度、作業環境について確認しましょう。



【動画はコチラ】

岡山県農業機械作業安全運動推進協議会